

特発性正常圧水頭症： LPシャント術を究める標準化と発展

日時：2022年 6月18日 [土] 12:00～13:00

会場：A会場 [幕張メッセ 国際会議場 3F]

座長

伊達 勲 先生 [岡山大学 脳神経外科]

「CHPVを用いたLPシャント：
新たなデバイスの臨床的意義と
LPシャント術の標準化に向けて」

演者

鮫島 直之 先生 [東京共済病院 脳神経外科]

「LPシャント術の新たなApproachと工夫
—側腹部アプローチの開発経緯と臨床成績—」

演者

後藤 幸大 先生 [湖東記念病院 脳神経外科]

Codman[®]
SPECIALTY SURGICAL

共催

第23回日本正常圧水頭症学会

Integra Japan 株式会社

- 本セミナーでは脳神経外科学会領域講習の単位を1単位取得することができます。



手術で改善できる認知症

特発性正常圧水頭症

特発性正常圧水頭症(iNPH)は、頭蓋内に髄液がたまり、脳が圧迫されて認知症などのさまざまな症状が出る病気。

髄液の流れをよくする手術で症状の改善が見込めるため「改善できる認知症」としても知られています。

高齢者に多い病気で、日本には高齢者の約1.1%、約37万人の患者さんがいると言われています。

“iNPHのサイン”を見極めよう!

主な症状は「歩行障害」・「認知症」・「尿失禁」の3つ。特に「開脚ですり足、小刻みに歩く」といった歩き方は、認知症が現れる他の病気と区別するポイントになります。



歩行障害



開脚で不安定な歩き方
つまづきやすく、よく転ぶ

認知症



ぼーっとしている
物忘れがひどい

尿失禁

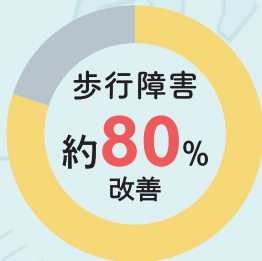


トイレに間に合わない
頻尿または尿失禁状態

手術でよくなる疾患です。

iNPHは、症状とCTやMRIなどの検査で診断できます。治療は1時間程度の水頭症治療の基本的な手術と10日間程度の入院。個人差はあるものの、歩行障害は約80%、認知症は約70%、尿失禁は約50%の方が改善し、介護が軽減するケースも多く見られます。

出典：特発性正常圧水頭症ガイドライン第3版



どうすればいいの?

なるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことが大切です。最近転びやすい・スムーズに歩けないなど自覚症状を感じたとき、ご家族が見て、歩きがおかしい・元気がないなどの違和感を覚えたときは、かかりつけ医あるいは専門医(脳神経外科・脳神経内科)を受診しましょう。



もしかしたら…
と思ったら

詳しくは「特発性正常圧水頭症サイト」へ

INPH 検索

www.inph.jp
セルフチェック・病院検索も

ご相談は「高齢者の水頭症コールセンター」へ

0120-279-465

(受付時間
平日8:00~20:00)